

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 94 号 2023 年夏号

2023 年 9 月 1 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415
<http://nadogaya-biotope.com/>

ビオトープの休耕田がハスの花で一杯です！



巨椋ハスとショウリョウバッタ



大賀ハスとミツバチ

昨年から休耕田に植えていましたハスが今年は多くの花を咲かせました。ピンクの大輪で早朝にミツバチも来ていたハスは、大賀博士が 51 年前に新検見川の遺跡で発見した 3 粒の内、1 粒のみ発芽した子孫です。白のハスは京都の巨椋池（おぐらいけ）が発祥の爪紅蓮です。蕾の時と開花時のみ花びらの先端に紅色が見られます。手賀沼のハスが撤去されてしまいましたので、近隣の方々から喜んで頂き、カメラマンも早朝から撮影に来ていました。

（小笠原 智）

掲示板前の「見学デッキ」「ベンチ」を 更新しました



更新した「見学デッキ」と奥のベンチ

掲示板前の「見学デッキ」は、ジオトープ発足後に市で作成し、10年程前と昨年に会で補修してきました。杭や根太、踏板がシロアリ被害で危険な為、今年度の委託分に材料代を加算して頂き、全面更新をしました。子供たちがデッキに腹這いになり田んぼを覗きこんでいます。ベンチも少し高くして板を更新しましたので、散歩途中での「ひと休み場」になっています。

(小笠原 智)



ヘイケボタル (右ページ記事)

ハイケボタルの観察会

今年も6月に3回の観察会を実施しました。コロナで市民向けのポスター掲示を2年振りに行い、多くの市民参加で感動し盛り上がりました。過去最高の20匹を観察しました。昨年に続きA、Bゾーン広範囲に渡って観察され自生の可能性も期待されます。又、観察環境も東武バス駐車場の照明灯向きを変えて頂き、明かりが遮断され観察しやすくなりました。来年は更に多くのホタルを期待したいと思います。観察会参加の皆様、大変ありがとうございました。

以下観察内容です。

4月15日(土)松清さんが飼育された幼虫120匹をホタル水路に放流。

●第1回目 6月10日(土) 20時～
曇天 気温 22℃

10匹を確認し、ホタル水路周辺では皆飛翔、後はBゾーンのヨシの中、木道沿いでした。

●第2回目 6月17日(土) 20時～
月明かりなし 気温 24℃

16匹を確認し、ホタル水路周辺では皆飛翔、柳の木の奥では更に何匹か飛翔して確認ができませんでした。後はBゾーンのヨシの中、木道沿いでこちらは止まったままでした。

●最終回 6月24日(土) 20時～
月明かり 気温 24℃

20匹を確認で過去最高。ホタル水路周辺、田んぼの中、じゅず玉池の近くと、Bゾーンではヨシの中、木道沿いでこちらも広い範囲でした。
(藤平 三郎)

ホタル観察会推移					2023/6/25	
年	観察日	確認数(匹)	参加人数	幼虫放流数	Aゾーン	Bゾーン
2023	6月24日	20	45		11	9
	6月17日	16	6		12	4
	6月10日	10	18	120匹	6	4
2022	6月25日	16	20		10	6
	6月19日	15	14		10	5
	6月12日	8	10	100		
2021	6月26日	0	19			
	6月20日	2	33			
	6月13日	2	18	120		
2020	6月27日	1	4			
	6月23日	3	8			
	6月15日	15	3	130		

春の生態調査実施

6月21日（水） 晴れのち曇り 気温 24度
9:00～10:30

参加者は、松清さん他、会員4名参加。

A、Bゾーンを捕獲網持って回り観察です。アゲハ蝶類、シオカラトンボなどが飛び交っていましたが、鳥類は殆ど飛び回っていません。外来種のカダヤシもあまり見つからず、ザリガニ釣り場ヨシの中からはヒクイナのさえずりが高く聞こえました。

村岡さんが自宅からジャコウアゲハの卵から育ててサナギになったものを持ってこられ、そのうち一つが丁度タイミング良く蛹から羽化をし始めて成虫となり貴重なシーンに皆感動しました。生態調査で確認できたものは38種と前年比6種減です。

天候とかいろいろタイミングもあり例年比大きな変動はありません。（藤平 三郎）



Aゾーン生きもの観察中



Bゾーン生きもの観察中



ニホンアカガエル、カナヘビ、アマガエル



生きもの名前リストアップ



見学中の保育園児へ生きものを見せる



ジャコウアゲハの羽化直後

月例活動状況のお知らせ（6月から8月まで）

6月17日（土）

朝から快晴の天気で気温もぐんと上がり夏日です、熱中症に注意しながら作業をしました。Aゾーン休耕田のガマ刈り取り、Bゾーンのヨシ、アメリカセンダングサ、ミント、ザリガニ釣り場のヨシの刈り取りなどをしました。そして草刈り機によるBゾーン北側、木村家がわ歩道斜面と中央市道の両サイドの刈り取りを行いました。終えて、皆さんは汗だくです。会員手作りの料理を頂きながら歓談しました。



Aゾーン休耕田のガマ刈り取り



アメリカセンダングサなどの刈り取り



木村家がわ歩道斜面の刈り取り

7月15日（土）

曇り空で、朝方は小雨がぱらつきましたが、始める頃は止みました。作業は、Aゾーンもち田、うるち田へ計量した肥料を散布しました。後はBゾーンの、ヨシ、アメリカセンダングサ、ミントなどの刈り取りです。すべての草刈は一気に無理で、少しずつ進めて行きます。会員家族の子供らが、網をもって昆虫探してビオトープ内を歩き回っていました。



Aゾーン 田んぼへ追肥散布



Bゾーンヨシ、アメリカセンダングサ、ミントなどの刈り取り



8月27日（日）

小笠原会長から、はざ掛けパイプ組み立ての要領説明を受けて作業を開始しました。9時半過ぎに突然のわか雨となり一時雨宿りし、止んでから再開して無事に組み立ては完了しました。又女性の一部には、来月に名戸ヶ谷小 稲刈り時の稲を束ねる麻ひも 300本の切断用意と、トイレ前市道脇の草刈りを行いました。（藤平 三郎）



田んぼ北側のパイプ組み立て



田んぼ東側のパイプ組み立て

新入会員紹介

～ 吉田雅俊さん ～



7月から家族会員となりました吉田と申します。
お隣の老人施設「回生の里」で勤務しています。
以前より「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」に興味をもっていました。縁あって今回入会させてもらい、四季を感じさせてもらっています。
また、息子の渚爽（なぎさ）も昆虫などを捕まえるのが大好きなため、こういう自然豊かな場所が近場で残っているのはとてもありがたいです。
こんな素敵な場所を今まで管理してくれていてありがとうございます。

これから「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」の一員として、お役に立てるようにいろいろ教えていただけたら幸いです。

今後ともよろしくお願い致します。

～ 渡辺れいさん ～

渡辺れいと申します。

家族4人で我孫子市に住んでいます。
先日訪れた際には、シュレーゲルアオガエルが迎えてくれました。
こんな市街地に彼らの生息域が残っていることにびっくりしました。
トンボとカエルが大好きなので、活動されている皆さんを少しでも応援できればと入会させていただきました。
今後ともよろしくお願い致します。



9～11月の活動予定

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 9月 ● 9日・10日：稲刈り | 10月 ● 11日：生態調査 |
| ● 16日：生き物観察会 | ● 21日：10月定例活動日 |
| ● 16日：9月定例活動日 | 11月 ● 18日：11月定例活動日 |

注) 詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）